

中学校第2学年 学級活動学習指導案

1 題材名 がんの治療で大切なこと

2 本時のねらい

身近な人が「がん」になった場合を想定した意見交換を通して、保健学習（がんの疾病概念や予防、早期発見の大切さ等）をもとに、自分にできることを考えることができる。

（思考・判断・表現）

3 本時の展開

進	○学習内容 「・」予想される生徒の思考	◇教師の指導 ※留意事項
導入	<p>1 課題づくり・講師紹介</p> <p>○講師紹介</p> <p>○保健体育で行った知識の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回やったことを再認識できた。 <p>○身近な人が「がん」と伝えられたらどう声をかけますか。（グループ交流）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大丈夫。 ・なんて声をかけていいのかわからない。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">身近な人が「がん」になったとき、自分にできることは何か考えよう。</p>	<p>※外部講師を紹介し、漠然とした不安や想像した心のつらさについて一緒に考えてもらえることを伝えることで、学習への意欲を高める。</p> <p>◇既習の内容を振り返ったうえで「もし身近な人が『がん』と診断されたら？」と問うことで、自分事として想像し、主体的に考えることができるようにする。</p>
展開	<p>2 病状について（講師の方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗がん剤治療を始めるとすぐに症状がでてくる。 ・関節の痛みなどの身体的な症状だけでなく精神的な苦悩もあるのだとわかった。 <p>3 身近な人が「がん」と知ったとき、どのように思い、どのように声をかけたり行動したりするのか考える。〔個人〕→〔グループ交流〕→〔全体交流〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の痛みやつらさ、心のつらさ、社会的なつらさがあるのだな。私は、心のつらさの支えになりたいな。 ・自分ができることを増やして、負担を減らして、治療に専念できるように支えたいな。 <p>4 主張作文を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に身近で経験している仲間がいる。 ・自分にできることについて考えて生活することは大切だ。 <p>5 外部講師の話を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段通り接していくことが大事なんだ。 ・支えとなる必要があるんだ。 ・自分ができることは自分でやろうと改めて思った。 	<p>◇「がんの治療方法」、「がんの症状」、「がんの治療での副作用」などがん患者に起こる症状について説明することで何ができるか考えることができるようにする。</p> <p>◇「支えたい」「話を聞いてあげたい」等の具体的な行動を話している生徒に対して、その理由を問いかけることによって、内面にある思いに向き合うことができるようにする。</p> <p>◇自分たちの年代でも実際に体験している仲間がいるということを理解させる。</p> <p>◇実際の患者の思いを聞くことで、何ができるのかを考えることができる。</p>
まとめ	<p>6 振り返り（学びをつなげる）</p> <p>○本時を振り返り、身近な人ががんと診断された場合に、自分にできそうなことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の思いに寄り添い、自分にできることをやっていきたい。 ・日頃から自分の思いを伝え合う関係を築いていきたい。 ・身近な人が「がん」と宣告された場合に、普段通りの生活が行えるようにしていきたい。 ・一日一日を大切に過ごしていきたい。 	<p>◇学習したことを家庭で話し、感想をもらうようにすることで、健康の大切さについてより深く考えることができるようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【評価規準】思考・判断・表現 がんと診断された場合に自分にできそうなことや、自分や家族の健康のために大切にしたいことを、ワークシートに記述している。</p>